

研究に関する情報公開

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者※の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。ただし、研究成果がすでに学会発表や論文等で公表された後の場合には、すでに公表された結果からその方のデータを取り除くことが困難な場合があります。

<研究課題名> 当院単施設における小児血液疾患および小児がん患者における診療実態と臨床経過に関する観察研究（診療録を用いた探索的観察研究）
<研究機関・研究責任者名> 日本大学医学部附属板橋病院 小児科 助教 金澤 剛二
<研究期間> 機関の長の初回許可日 ～ 令和 13（西暦 2031）年 5 12 月 31 日
<対象となる方> 2010 年 1 月 1 日から 2030 2031 年 12 月 31 日までの間に、当院で血液の病気または小児がんに関する診療を受けた患者さんが対象となります。診療には、外来受診、入院、検査、治療、長期フォローアップなどが含まれます。
<研究の目的> 小児血液疾患や小児がんは比較的まれな病気であり、一つの医療機関だけでは十分な症例数を集めることが難しいという特徴があります。そのため、日常診療で得られる情報を継続的に蓄積し、全体としての診療の実態や経過を把握することが重要です。 本研究では、診断の内容、治療の方法や経過、検査結果、合併症や副作用の発生状況、治療後の経過の情報を整理・分析することで、現在の診療がどのように行われているのかを明らかにします。 さらに、どのような治療がどのような経過につながっているのか、合併症がどのような場面で起こりやすいのか、長期的にどのような健康上の課題が生じるのかといった点についても検討を行います。 これらの結果は、今後の治療の改善や合併症の予防、患者さんの長期的な生活の質の向上に役立てることを目的としています。また、研究成果は学会や論文を通じて広く共有し、より良い医療の提供につなげていきます。
<研究の方法> 本研究では、新たに検査や治療を行うことはありません。すでに診療の中で記録されている情報を診療録から収集し、個人が特定できないようにしたうえで分析を行います。
<研究に用いる試料・情報の項目> 本研究では、診療録に記載された以下の情報を使用します。 年齢・性別・診断名の基本情報、出生歴・既往歴・家族歴の背景情報、身長や体重、発達の状況の成長・発達

に関する情報、病気の種類や進行度、遺伝子に関する情報、治療内容、治療の経過、支持療法、カテーテルに関する情報、感染症の情報、各種検査結果、入院期間や集中治療を含む診療経過、合併症や副作用、治療後の経過、医療費助成制度や福祉サービスの利用状況、学校生活や就労に関する状況

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町 30-1）

小児科学系小児科学分野 助教 金澤 剛二

電話：03-3972-8111 内線：（小児科医局）2442 （PHS）8009

※研究対象者とは、以下に該当する方（死者を含む。）を指します。

①研究を実施される方

②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方

研究に関する情報公開

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者※の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。ただし、研究成果がすでに学会発表や論文等で公表された後の場合には、すでに公表された結果からその方のデータを取り除くことが困難な場合があります。

＜研究課題名＞

当院単施設における小児血液疾患および小児がん患者における診療実態と臨床経過に関する観察研究（診療録を用いた探索的観察研究）

＜研究機関・研究責任者名＞

日本大学医学部附属板橋病院 小児科 助教 金澤 剛二

＜研究期間＞

機関の長の初回許可日 ～ 令和 13（西暦 2031）年 5 ~~12~~月 31 日

＜対象となる方＞

2010 年 1 月 1 日から ~~2030~~ ~~2031~~ 年 12 月 31 日までの間に、当院で血液の病気または小児がんに関する診療を受けた患者さんが対象となります。診療には、外来受診、入院、検査、治療、長期フォローアップなどが含まれます。

＜研究の目的＞

血液の病気や小児がんは、あまり多くない病気です。そのため、一つの病院だけでは多くの例を集めることが難しく、これまでの診療の記録をまとめて調べるのがとても大切です。この研究では、これまでの診療でわかったこと（病気の種類、治療の内容、検査の結果、体の変化）を集めて、どのような治療が行われてきたのか、どのような経過をたどることが多いのかを調べます。また、治療のあとにどのような体の変化が起こりやすいのか、さらに長い目で見た健康のようすについても考えていきます。

この研究によって、これから同じ病気になる人たちに、よりよい治療やケアができるようになることを目指しています。結果は学会や論文として発表され、医療の進歩に役立てられます。

＜研究の方法＞

この研究のために、新しく検査や治療を行うことはありません。これまでの診療で記録された情報を使い、個人がわからないようにして調べます。

＜研究に用いる試料・情報の項目＞

この研究では、診療の記録にある次のような情報を使います。

年れい・性別・病名の基本情報、これまでの病気や家族の病気の情報、身長や体重、成長や発達の様子、病気の種類や進み具合、遺伝子に関する情報、治療の内容、治療の経過、体を支えるための治療、点滴の管に関する情報、感染症の情報、検査の結果、入院の期間や集中して治療を受けたかどうか、合併症や副作用、治療後の体の様子、医療費の助成や福祉サービスの利用状況、学校生活や仕事に関する状況

＜お問い合わせ窓口＞

日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町 30-1）

小児科学系小児科学分野 助教 金澤 剛二

電話：03-3972-8111 内線：（小児科医局）2442 （PHS）8009

※研究対象者とは、以下に該当する方（死者を含む。）を指します。

①研究を実施される方

②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方

研究に関する情報公開

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者※の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。ただし、研究成果がすでに学会発表や論文等で公表された後の場合には、すでに公表された結果からその方のデータを取り除くことが困難な場合があります。

＜けんきゅうのなまえ＞

とういんたんしせつ しょうにけつえきしっかん しょうに かんじゃ しんりょうじつたい りんしょうけいか
当院単施設における小児血液疾患および小児がん患者における診療実態と臨床経過

かん かんさつけんきゅう しんりょうろく もち たんさくてきかんさつけんきゅう
に関する観察研究（診療録を用いた探索的観察研究）

＜けんきゅうするしせつ・けんきゅうするひと＞

けんきゅうするしせつ：日本大学医学部附属板橋病院

けんきゅうするひと：小児科 じょうにか じょきょう かねざわ こうじ
助教 金澤 剛二

＜けんきゅうするひにち＞

きかん おさ しょうかいきよかび れいわ せいれき ねん がつ にち
機関の長の初回許可日 ～ 令和 13（西暦 2031）年 5 月 31 日

＜たいしょうとなるひと＞

2010 ねん 1 がつ 1 にちから ~~2030~~ 2031 ねん 12 がつ 31 にちまでのあいだに、このびょういんで、ちのびょうきやこどものがんのしんさつをうけた人がたいしょうです。がいらい、にゅういん、けんさ、ちりょう、そのあとのつういんなどをうけた人がふくまれます。

＜けんきゅうのもくてき＞

ちのびょうきやこどものがんは、あまりおおくないびょうきです。そのため、これまでのちりょうのきろくをあつめて、しらべることがとてもだいじです。このけんきゅうでは、びょうきのなまえや、どんなちりょうをしたか、けんさのけつか、からだのようすなどをまとめてしらべます。そうすることで、どんなちりょうがよいのか、どんなことがおこりやすいのかをすることができます。

このけんきゅうのけつかは、これからびょうきになる人のちりょうをよくするためにやくだてます。

＜けんきゅうのほうほう＞

このけんきゅうのために、あたらしくけんさや、ちりょうをすることはありません。これまでのびょういんのきろくをつかって、だれのものかわからないようにしてしらべます。

＜つかうじょうほう＞

このけんきゅうでは、びょういんのきろくにあるつぎのようなじょうほうをつかいます。

ねんれい、せいべつ、びょうきのなまえ、これまでのびょうきやかぞくのびょうき、しんちょうやたいじゅう、からだのせいちょうのようす、びょうきのしゅるいやすすみぐあい、どんなちりょうをしたか、ちりょうのあいのようす、からだをささえるためのちりょう、てんてきのくだのじょうほう、かんせんしょうのじょうほう、いろんなけんさのけっか、にゅういんしていたきかん、ふくさようやぐあいがわるくなったこと、ちりょうのあとのからだのようす、びょうきをなおすちりょうのためのおかねのサポートやサービス、がっこうやしごとのようなす

<しつもんしたいときのれんらくさき>

にほんだいがくいがくぶぞくいたばしびょういん とうきょうといたばしくおおやぐちかみちょう
日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町30-1）

しょうにかがくけいしょうにかがくぶんや じょきょう かねざわ こうじ
小児科学系小児科学分野 助 教 金 澤 剛 二

でんわ ないせん しょうにかいきょく ぴーえいちえす
電話：03-3972-8111 内 線：（小児科医局）2442 （P H S）8009

※研究対象者とは、以下に該当する方（死者を含む。）を指します。

①研究を実施される方

②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方